

光散乱特性評価装置

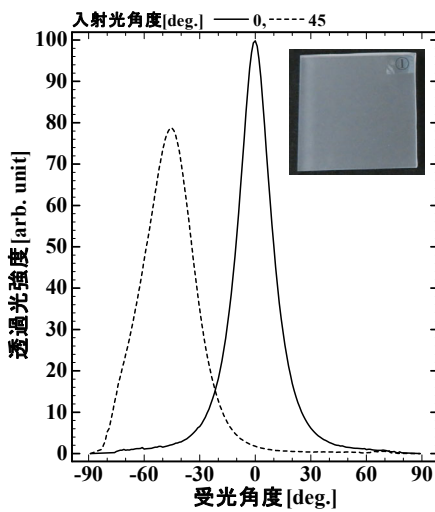
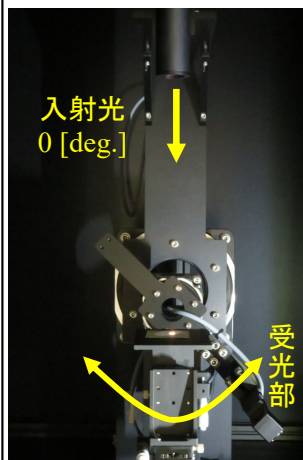
■機器の概要

光散乱特性評価装置は、金属板や樹脂フィルムに紫外～可視の連続光を照射し、入射する光の角度及び透過光・反射光の受光角度を変化させることで、光散乱特性を評価することが可能です。

■活用事例

HG丸ゴシックM-PRO

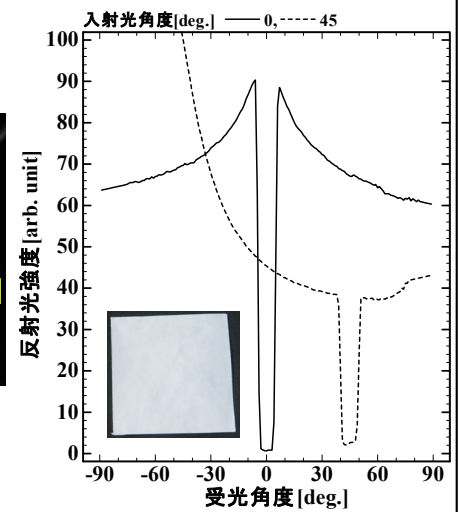
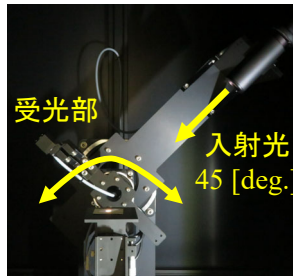
入射光角度を変えながら、各角度における透過光の強度を測定します。



※縦軸：入射光角度0 [deg.]・受光角度0 [deg.]
のときの透過光強度を100として規格化

農業用反射シートの反射特性

入射光角度を変えながら、各角度における反射光の強度を測定します。



※縦軸：入射光角度45 [deg.]・受光角度-45 [deg.]
のときの反射光強度を100として規格化

■仕様・留意事項

主な仕様

- ・型式 : LOT-4AXIS-CG
- ・メーカー : (株) スペクトラ・コープ
- ・測定波長範囲 : 300 ~ 830 [nm]
- ・波長分解能 : 0.4 [nm]
- ・入射光角度範囲 : -90 ~ 90 [deg.]
- ・受光角度範囲 : β -180 ~ 180 [deg.], θ -90 ~ 90 [deg.]

Auto Race



本機器は、(公財) JKAのオートレースの補助を受けて、2019年度に購入・設置しました。